

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

40

2014/11



医師・看護師など多職種の医療スタッフが、一刻を争う患者さんの命を救うため、懸命に働いています。

Zoom Up!
Oozuchuo Hospital



【救急処置室】

当院は、昭和48年開院以来、市立大洲病院・喜多医師会病院と並んで地域医療・救急医療の中核を担っており、また、土曜・日曜に平常診療を行うことで、地域の皆さんに休日でも安心して診てもらえる病院として定着しています。

大洲喜多郡地区で、週3日間（金曜・土曜・日曜）二次救急を担当していますが、脳神経外科に関しては、近医に手術ができる病院がないこともあり、担当日以外でも紹介・転院が多く365日24時間体制で受け入れを行っています。

外来・病棟一元化により
救急対応する看護師を確保しています

最近では、地域における高齢化・核家族化もあつてか救急搬送事例も増加傾向にあり、昨年度は1,132件の救急搬送事例がありました。このように地域での需要が増える反面、それを支える地域医療では、医師・看護師不足が問題となっており、当院も例外ではありません。限られた人員を有効に活用し、外来診療・救急処置に



通りに面した位置に
救急車が横付けできる搬入口を設け、
スムーズなアクセスを可能にしました。

Zoom Up!
Oozuchuo Hospital



【救急搬入口】

速やかに対応できるように、外来・病棟の一元化を行っています。これは、外科系・内科系それぞれの外来と病棟を一元化し、病棟単位で午前中は外来診察に必要な人員を派遣し、休診となる午後からは病棟に帰りケアをするというシステムです。「必要とする時間に必要の人員を確保する」ことは、救急搬送対応時も同様で、状況によっては分単位で病棟から外来への応援をすることもあります。救急対応をする看護師の人数を確保することで、一分一秒を争う重篤な状態の患者さんに迅速に対応することができます。また、このシステムにより、外来～入院～外来という継続した看護ができるようになってきました。

連携室を通して、受け入れ可能な三次医療機関や患者の症状に対応できる専門の医療機関への連携を行い、医療を提供できるように努めています。

救急医療体制の整備充実で
地域貢献できるよう努力しています

当院では以前より大洲消防署からの要請を受け、救急救命士の実習受け入れを行い、その育成の一助を担っています。研修時には、技術・知識の習得はもちろんですが、今後の実践においても関わりが多い救命士の方々とコミュニケーションをと

り、病院内のシステムや構造を知ってもらうことで、よりスムーズな協力体制を築けています。

日頃の活動が評価され、先日「愛媛県救急医療功労者知事表彰」を受賞いたしました。これは、愛媛県における救急医療体制の整備充実に貢献し、救急医療に関する功績が顕著な団体に贈られるものです。受賞に伴い、長年の努力が認められたことで、私たち職員の士気も向上しています。今後もこの受賞に恥じないよう地域の救急医療を支えるべく努力して参ります。

緊急手術に対応できる環境が
整備されています

当院は、大洲喜多郡地区で唯一の脳神経外科手術ができる病院として、脳出血や脳動脈瘤、脳腫瘍などの手術や治療・検査に対応しています。そのため、緊急手術になることも多く、外来からそのまま手術室に入ることも少なくありません。そのような時は、手術室看護師が外来に出向き、事前に患者さんやご家族と関わり、情報収集や不安の軽減に努めています。また、夜間の緊急手術に対しても医師・手術室看護師は待機体制をとっており、速やかに連絡・召集できるようになっています。最近では、患者さんや家族の方が安心して手術に臨めるように、術前・術後訪問にも取り組むなど、病棟と連携し継続看護に努力しています。

三次救急との連携で
重症例にも対応しています

二次医療機関である当院での治療・処置が困難と判断された救急患者の対応については、地域

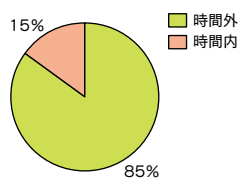
平成26年8月 救急車収容患者集計

*平成26年8月における救急車で収容された患者様の集計結果

①収容時間

| 時間 | 人数 |
|-----|-----|
| 時間外 | 111 |
| 時間内 | 19 |
| 合計 | 130 |

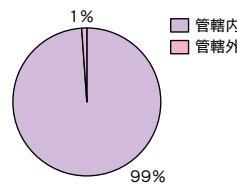
(火・水・祝日 搬送件数…2件)
*時間外の件数に含んでいます。



②管区の内訳

| 管区 | 人数 |
|-----|-----|
| 管轄内 | 129 |
| 管轄外 | 1 |
| 合計 | 130 |

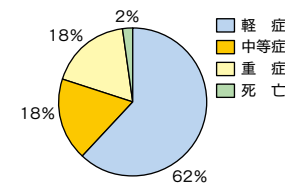
(西予市救急より救急搬送…1件)



③傷病の程度

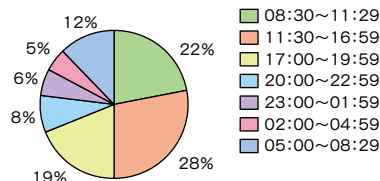
| 程度 | 人数 |
|-----|-----|
| 軽症 | 81 |
| 中等症 | 23 |
| 重症 | 23 |
| 死亡 | 3 |
| 合計 | 130 |

*軽症…入院加療を要しないもの
*重症…3週間以上の入院加療を要するもの



④診療時間帯

| 時間 | 人数 |
|-------------|-----|
| 08:30~11:29 | 28 |
| 11:30~16:59 | 38 |
| 17:00~19:59 | 25 |
| 20:00~22:59 | 10 |
| 23:00~01:59 | 8 |
| 02:00~04:59 | 6 |
| 05:00~08:29 | 16 |
| 合計 | 130 |



救急車の数は
限られてます。
適切な使用の
ご協力をお願い
します。

愛媛県救急医療功労者知事表彰を受賞しました。

この度、休日や夜間の救急医療への貢献が認められ、「愛媛県救急医療功労者知事表彰」を受賞いたしました。これは、愛媛県における救急医療体制の整備充実に貢献し、救急医療に関する功績が顕著な団体を表彰し、その功績に報いるとともに今後の救急医療体制の一層の充実に資することを目的として、毎年9月9日(救急の日)に行われるものです。

院長のコメント

「私たち大洲中央病院は、病院開院以来、救急医療・急性期医療を通じて、地域に貢献できるよう頑張って参りました。しかし、近年地方における病院は、医師不足・看護師不足、あるいは現場の医師の高齢化が進み、病院機能の縮小や救急医療からの撤退など、年々厳しさを増しているのが現状です。このような厳しい状況の中ではありますが、『医療人としての使命感』を持って地域における救急医療を守るため継続努力して参りますので、今後もご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。」



大洲中央病院を知事表彰

9月9日 救急の日 休日や夜間の診療に貢献した救急医療功労者として、県は大洲中央病院(大洲市東大洲)を知事表彰した。大洲中央病院は1973年に病院群輪番制に参加し、救急対応日数は年間200日以上

表彰状を受け取る大洲中央病院の大久保啓二院長(9日午後)県庁

「救急の日」の9月9日、休日や夜間の診療に貢献した救急医療功労者として、県は大洲中央病院(大洲市東大洲)を知事表彰した。大洲中央病院は1973年に病院群輪番制に参加し、救急対応日数は年間200日以上

県庁で兵頭昭洋保健福祉部長から表彰状を受け取った大久保啓二院長(53)は「開院以来、救急医療を中心に力を入れてきた。近年は医師や看護師不足、高齢化で医療現場が困窮しているが、医療人としての使命感を持ってさ

に上り、大洲・喜多地区で最多。脳神経外科分野では八幡浜、大洲圏域全体から患者を受け入れている。また救急医療体制の充実に向けた機器整備や救急救命士の病院実習への積極的な協力など、地域医療で中核的な役割を担っている。県庁で兵頭昭洋保健福祉部長から表彰状を受け取った大久保啓二院長(53)は「開院以来、救急医療を中心に力を入れてきた。近年は医師や看護師不足、高齢化で医療現場が困窮しているが、医療人としての使命感を持ってさ

2014年9月10日付愛媛新聞6ページ
「大洲中央病院を知事表彰」
(掲載許可番号：G20141001-01699)

(藤田恵)

新任医師紹介



整形外科医
沖永 昌弘

平成26年10月より大洲中央病院の一員として勤めさせていただくことになりました。沖永昌弘(おきなしょうこう)と申します。平成15年卒、12年目の整形外科医です。

18歳より故郷、愛媛(大洲市)を離れ上京し、いろいろなことを経験し、いつの間にかアラフォー世代となり、当然、親も高齢となり両親が70歳になったのを機に帰郷する決意を致しました。地元でなんとか地域貢献出来ないものかといろんな病院を探していた所、院長先生と事務部長さんとお話しをさせていただく機会に恵まれ、今回お世話になるに至りました。

今まで勤めてきた病院も救急医療に力を入れている病院であったということもあり、外傷一般が得意分野ではございますが、慢性期の医療に対しても積極的に取り組んでいくつもりでおりますので、どうぞよろしくお願い致します。

血液型はA型で、趣味は旅行、今後の目標は整形外科専門医をとることです。まだまだ、人としても医師としても未熟者であり色々ご迷惑をおかけするかとは思いますが、これから末永くよろしくお願い申し上げます。

健康講座

参加自由
入場無料

■会場 大洲中央病院 1階 多目的ホール(売店横)
■時間 午後2:00~3:00

【開講予定】

- ◎11月27日(休)
 - 『高血圧のお話』..... 井上医師
 - 『これであなたもお薬名人~薬の上手な服用の仕方~』..... 薬剤師
- ◎12月18日(休)
 - 『喘息のお話』..... 山上医師
 - 『生活習慣病は子供の頃に決まる?! ~生活習慣病を防ぐための3つの秘訣~』..... 看護師

院内美術館



『黄菅の丘』
村越由子作

淡い色調で描かれる風景画

今回ご紹介するのは、2Fリハビリスタッフステーション入口にある日本画です。作者の村越由子は、1993年、史上最年少にして山種美術館賞優秀賞を受賞したことも知られ、現代のかわつ鮮やかな色彩により、日本の豊かな自然美を描く実力派です。手前に咲く花と彩り豊かな山の姿が美しい、この風景画『黄菅の丘』を、ぜひ一度ご覧ください。



村越由子(むらこしゆうこ)
/1966年東京都生まれ。
/1993年 多摩美術大学大学院修了。1993年 第12回山種美術館賞展優秀賞

次号は棟方志功「釈迦十大弟子」(善利弗と阿那律)をご紹介します。

ヘルパー研修の開催

9月29日、介護福祉士が講師となり、ヘルパー研修を行いました。当院では、患者さんの日常生活の援助と看護補助業務をする目的で、各病棟にヘルパーを配置しています。日頃より患者さんに安全で気持ちよく過ごして頂くために、看護師・ヘルパー共に、定期的に研修会を開催し、知識・技術の習得に努めています。今回は「清潔ケア」について学び、普段自分たちが行っているケアを、根拠に基づいて一つ一つ再確認した後、3つのグループに分かれて演習を行いました。演習では、患者役とケアを提供する側に別れて実施し、それぞれの立場を体験することで、自分たちの日頃のケアを振り返る機会となりました。今後も研修で学んだことを活かし、安全・安楽な看護ケアを提供していきたいと思っております。



看護部教育委員長 竹岡 照枝

リスクマネジメント研修



10月2日、9日に、リスクマネジメント研修が開催されました。今回は、医療安全とコミュニケーションについてのお話をして頂きました。患者さんとの感じ方や認識の違いにより問題が大きくなってしまい、信頼を失う事があります。そうならない為には、まず、患者さんの話をしっかり聞いて相手の伝えたい事や気持ちを理解する事が大切だと改めて感じました。受付でたくさんの方の対応をしています。今回の研修を日々の業務に活かして気持ちの良い対応をしたいと思っております。

医事課 森田 真央

手術用顕微鏡のリニューアル

当院の脳神経外科は、24時間365日緊急手術に対応できる体制を整えています。手術室も3室に拡充しましたので、各科専用として運用しています。それに伴い手術用顕微鏡もリニューアルすることが決定し、平成27年1月に新機種「OPMI PENTERO900」に更新する予定です。従来の手術用顕微鏡に比べ、映像はさらに鮮明になり、ICG血管造影機能が備わっていることで、手術部位の血液の流れも鮮明に把握できます。また、医師および手術室看護師の操作性が良くなると共に、録画・編集システムも一新し、高画質な手術映像を最大限に活用できるようになります。今から導入に向けて、医師・看護師共に準備を整え、患者さんにより安全に、安心して手術を受けていただけるよう精度アップに努めてまいります。



手術室 看護主任 亀山 州平

外来診療医師一覧表

| 診療科目 | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 | 日曜 |
|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------------------|----------------------------|
| 内科 | 1診 | 池本 純* | 休診日 | 大久保啓二* | 大久保啓二* | 大久保啓二* | 大久保啓二* |
| | 2診 | 山上 隆司 | | 山上 隆司 | 池本 純* | 池本 純* | 山上 隆司 |
| | 3診 | 井上 明子 | | 井上 明子 | 近藤 誠司 | 山上隆司(第1・3・5) | 近藤 誠司 |
| | 4診 | | | 近藤 誠司 | | 近藤誠司(第2・4) | 池本 純(第1・3・5) 小島直彦(第2・4) |
| 外科 | 1診 | 森岡 徹 | 休診日 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | | 森岡 徹 |
| | 2診 | 満谷 臨 | | 満谷 臨 | | 満谷 臨 | 満谷 臨 |
| | 3診 | | | | 武内 成禮 | 武内 成禮 | |
| 整形外科 | 1診 | 栗田 英明 | 休診日 | 冲永 昌弘 | 栗田 英明 | 冲永 昌弘 | 栗田 英明 |
| | 2診 | | | | | | 冲永 昌弘 |
| 泌尿器科 | | 清水 公治 | 休診日 | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 |
| 脳神経外科 | 1診(新患) | 西原 潤 | | 西原 潤 | 重川 誠二 | 岩田 真治 瀬野 利太(隔週) | 重川 誠二 |
| | 2診(再診) | 重川 誠二 | 重川 誠二 | 西原 潤 | | 西原 潤 | 西原 潤 |

| | |
|----------------|---|
| 受付時間 | 午前8時00分～午前11時30分 |
| 診療開始時間 | 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) *は、予約診療になっています。 |
| 休診日 (10～1月) | 救急診療のみ……………11月23日(日)、1月2日(金)、1月3日(土) 休診日……………火曜、水曜、10月13日(月)、11月3日(月)、1月12日(月) 年末年始……………12月30日(火)～1月3日(土)は一般診療は休診 |
| お見舞い面会時間 | 午後1時00分～午後9時00分 |

◎喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

うらかな小春日和。外に出掛けるのも寒すぎず、暑すぎず、1年で1番贅沢な季節の到来ですね。また、これからはご飯が美味しい季節になってきますので、秋の味覚を楽しみながら、たくさん食べて、たくさん動いて寒さに負けず、元気に冬を迎えましょう。

発行/医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /
伊達 明日香(看護部) / 山下 恵里(看護部) /
福田 修治(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
松本 奈緒(総務課) / 谷本 志津(医事課) /
二宮 祐希(栄養科)